

大会名称: 第12回東北大学バスケットボールリーグ
兼全日本大学バスケットボール選手権大会 東北地区予選会

開催場所: 仙台大学 第五体育館

試合区分: No. 2B2 1次リーグ コミッショナー: 佐々木桂二

期 日: 2011(H23)年9月2日(金) 主審: 齋藤 晃治

開始時間: 17:30 副審: 山本 光太郎

終了時間:

山形大学 (一部 1位)	○ 112	28 -st1- 7	● 48	岩手大学 (一部 6位)
		28 -2nd- 11		
		26 -3rd- 10		
		30 -4th- 20		
		-OT1-		
		-OT2-		
		-OT3-		

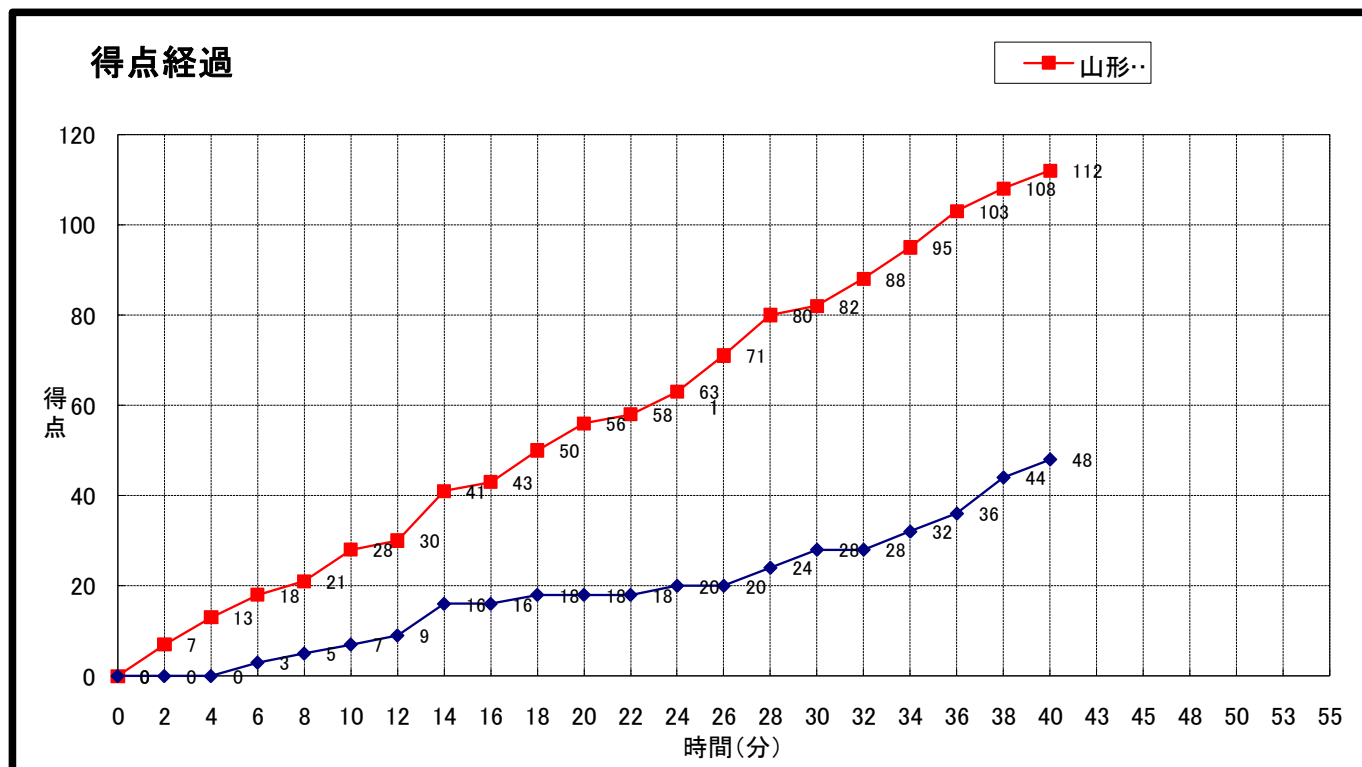
山形大学

No.	S	選手名	PTS	3P FG		2P FG		FT		PF	REBOUNDS			TO	AS	ST	BS	MIN
				M	A	M	A	M	A		TF	OR	DR					
4*		佐久間 奈々	7	1	2	0	4	4	8	0	0	3	3	0	2	0	0	
5		阿部愛美	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
6*		佐藤 優香	13	0	0	6	10	1	1	0	4	2	6	0	1	0	0	
7		長嶋 真央	4	0	4	2	3	0	0	1	1	1	2	0	0	0	0	
8		百瀬 悠里絵	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
9*		佐藤 綾香	3	1	2	0	1	0	0	0	1	2	3	0	1	0	0	
10		花沢 夏美	20	0	0	8	18	4	5	0	3	5	8	0	0	0	0	
11		大山 未由	17	3	8	3	4	2	3	1	0	2	2	0	2	0	0	
12*		小松 恵	18	0	0	8	15	2	2	0	5	3	8	0	1	0	0	
13		福田 有利子	6	0	3	3	4	0	0	2	2	1	3	0	1	0	0	
14*		外山 優子	7	0	0	3	9	1	2	2	1	0	1	0	1	0	0	
15		大柴 かおる	17	3	4	3	6	2	6	2	0	0	0	0	1	0	0	
TEAM		大神 訓章									5	11	16					
		合計	112	8	23	36	74	16	27	8	22	30	52	0	10	0	0	0:00
				34.8%		48.6%		59.3%										

岩手大学

No.	S	選手名	PTS	3P FG		2P FG		FT		PF	REBOUNDS			TO	AS	ST	BS	MIN
				M	A	M	A	M	A		TF	OR	DR					
4*		山下 美穂	7	1	1	2	11	0	1	4	0	4	4	0	0	0	0	
5*		中村 恵	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
6*		小原 千知	4	0	0	2	5	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	
7		佐藤 彩華	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
8		関根 舞	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
9		村里 夏紀	10	0	1	5	9	0	4	0	1	1	1	0	0	0	0	
10		山田 葵	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
11*		藤原 優	8	0	2	3	10	2	2	2	0	0	0	0	0	0	0	
12*		高田 媛子	4	0	0	1	5	2	2	2	4	3	7	0	0	0	0	
13		高橋 芽衣	4	0	1	2	5	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	
14		鈴木 夢子	8	0	1	4	10	0	2	3	2	1	3	0	3	0	0	
15		西山 千晶	3	1	1	0	5	0	0	2	3	2	5	0	0	0	0	
TEAM		栗林 徹									1	5	6					
		合計	48	2	8	19	60	4	7	22	10	16	26	0	3	0	0	0:00
				25.0%		31.7%		57.1%										

PST: ポイント M: 成功 A: 試投 %: シュート率
FG: フィールドゴール 3P: 3ポイントシュート 2P: 2ポイントシュート FT: フリースロー
F: ファール OR: オフェンスリバウンド DR: ディフェンスリバウンド TOT: トータルリバウンド
TO: ターンオーバー AS: アシスト ST: スティール BS: ブロックショット
MIN: 出場時間 S: スターター OT: 延長



ゲームレポート

○試合のまとめ

昨年度優勝の山形大学と2次リーグ進出を目指す岩手大学の一戦。前半は体格や運動能力で勝っていた山形大学が優勢に思われたが、後半岩手大学のオフェンスが積極的になり、セカンドチャンスも増え、得点を重ねた。しかし、最後は山形大学のオールコートプレスが効き、岩手大学は崩すことができず、112-48で山形大学が勝利した。

○第一ピリオド

山形大学はマンツーマンプレスで岩手大学のオフェンスを苦しめる。山形大学は岩手大学の得点が止まっている間に#14外山のドライブと#12小松のゴール下のプレーで加点していく。対して、岩手大学は#14鈴木を投入し、プレスを徐々に突破していく。しかし、山形大学のスピードあるプレーに岩手大学はファールを重ねる。最後、山形大学#9佐藤の3Pが決まり、28-7で山形大学21点リードで、第一ピリオド終了。

○第二ピリオド

第二ピリオドは両チームとも積極的な選手起用により、試合が目まぐるしく展開していった。岩手大学は#4山下の3Pをはじめ、点を取っていく。しかし、山形大学の#4佐久間の3Pも決まり、また山形大学のゴール下の強いプレーで岩手大学に追いつく隙を与えない。身長のある山形大学がオフェンスリバウンドを制し、点差を広げ、59-18で山形大学リードで前半終了。

○第三ピリオド

序盤、両チームとも熱のこもったディフェンスを繰り広げ、どちらも得点を許さない。しかし、山形大学の積極的なリバウンドや#10花沢のゴール下の1対1により、山形大学は点を重ね、岩手大学をさらにじわじわと離していく。岩手大学#11藤原のスティールからのワンマン速攻で流れを掴みかけたが、56-18で山形大学54点リードで第三ピリオド終了。

○第四ピリオド

山形大学#11大山と#13福田の連続3Pにより、さらに点差が広がる。第四ピリオドのスタート、両チームとも疲れが見えたが、オールコートマンツーマンを辞めず、粘りあるディフェンスが見られた。岩手大学はファールが重なり、山形大学にフリースローのチャンスを与えてしまう。山形大学がそれをしっかり決め、加点していく。岩手大学のシュートが後半入り出し、得点が増えた。最終的に、山形大学が112-48で64点差をつけ、大勝した。

担当者: 阿部 杏奈(福島大学)

東北大学バスケットボール連盟